



## 大図研京都ワンディセミナーのご案内

テーマ：『ディスカバリーサービス：導入とその後について経験者が語る』

概要：利用者の利便性が飛躍的に向上するとされている「ディスカバリーサービス」は、図書館にどのような影響を与えるのでしょうか。「ディスカバリー」の基礎知識や導入に至る経緯、導入後の効果などを講師の方々にディスカッション形式で語っていただきます。

講師 飯野 勝則 氏（佛教大学図書館）  
安東 正玄 氏（立命館大学図書館）

日時：2012年6月2日（土）13：30～16：45（13：15～受付開始）  
※終了後、懇親会を予定しております。

会場：キャンパスプラザ京都 第1会議室（JR 京都駅ビル駐車場西側）  
（アクセス：<http://www.consortium.or.jp/>）

主催：大学図書館問題研究会 京都支部

参加費：大図研会員は無料（非会員は500円 参加費は当日、会場でいただきます。）

申込方法：大図研京都ワンディセミナー申込フォーム  
（<http://www.daitoken.com/kyoto/event/20120602.htm>）からお申し込みください。

申込期限：5月31日（木）

※申込み多数の場合、会場の収容人数を考慮し早めに締め切らせていただく場合があります。

### [目次]

大図研京都ワンディセミナーのご案内	…	1
私の図書館 立命館大学 衣笠図書館	安東 正玄, 藤谷 篤	… 2
別府だより～温泉に浸かってぼんやりと～	藤谷 篤	… 5
大学図書館問題研究会第43回全国大会のご案内	…	7

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：[kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com)（大学図書館問題研究会京都支部）

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

## 私の図書館 立命館大学 衣笠図書館

安東 正玄, 藤谷 篤

### 1. 概要



金閣寺と竜安寺の近くの衣笠キャンパスのほぼ中央に位置し、1965年に建てられた図書館です。

所蔵は

図書：909,799冊

雑誌：18,901タイトル

年間受入冊数は

図書：35,092冊

雑誌：4,342タイトル

衣笠キャンパスにおける学習図書館としての性格を強く持った図書館です。

また、この図書館の事務スペースでは、立命館大学全体の資料だけでなく、別府にある立命館アジア太平洋大学の資料の受付・整備もっており、中央図書館的役割も果たしています。

近年は、老朽化と学生数に比べてスペースが狭いなど、問題が表面化し、近いうちに新しい図書館とパトタッチすることも、正式に決定しました。

この姿をみられるのも、後数年の事になります。

### 2. 特徴

#### 1) 学生に積極的にアピールする図書館

ハード面で問題を抱えている図書館ではありますが、なんとか学生にアピールするために「読楽（どくがく）コーナー」「進路就職支援コーナー」など父母後援会の支援もいただきながら、本来の収書基準に合わない資料であっても本と学生の距離を縮めることのできる資料を提供したり、「教員お勧め本コーナー」「学生選書コーナー」など積極的に取り組んでいます。

(左側) 読楽コーナー

(右側) 学生選書コーナー





教員のお勧め本コーナーに並べられる資料は、すぐに貸出されてしまいます。

## 2) 学生スタッフが頑張る図書館

立命館大学では、昔から学生が学生の面倒を見る文化があり、「学生の為に私たちも何かしたい」と強く思っている学生が多くいます。その中でライブラリースタッフとして、学生の為にいろんな取り組みをしてくれている学生が多くいます。



左の3月の新着図書も学生ならではの楽しいつくりです。

また、学生スタッフの中で話し合い特別なテーマを決めて、情報発信もしています。

右のポスターのテーマは「絆」



ライブラリースタッフが製作しているホームページです。学生自ら「図書館に行こう！」とアピールしてくれています。当然、コンテンツの新着図書紹介、特集、対談、先生お勧め本についても学生が主体となり、インタビューなど精力的に取り組んでいます。

### 3) 業務委託化が進んだ図書館

私立大学図書館の中でも比較的早い段階から、図書館業務の業務委託を進めてきました。

いまでは、整備・目録等のバック業務だけでなく、サービス業務及びそれらの業務の管理監督など、図書館業務の大半を業務委託にしています。その分、図書館としての政策や新しい取り組みなどに積極的に専任職員が取り組むことができます。しかし、その背景には業務委託の方々の努力と大学側のスタッフとの信頼関係があってこそです。

時には厳しい議論もありますが、「図書館をより良くしていきたい」という共通の思いで日々奮闘しています。



(左) 安東正玄 (右) 藤谷篤

※藤谷篤さんは2012年4月から大分県別府にある立命館アジア太平洋大学のAPUライブラリー勤務にかかりました。

あんどう せいげん／ふじたに あつし (立命館大学)

## 別府だより ～温泉に浸かってぼんやりと～

藤谷 篤

<はじめに>

みなさん、こんにちは。支部委員の藤谷です。はじめに、私事で大変恐縮ではございますが、この4月に、京都の立命館大学図書館から遠く離れて、大分県は別府にあります、立命館アジア太平洋大学（以下 APU）の図書館へ赴任しております。同じ立命館学園の中ではありますが、立命館の大学がもう一つ、しかも別府にあること自体、知らない方も多いのではないのでしょうか。私自身、まさか自分が別府に行くことになるなんて！と思いつつも、年度末の多忙さに意識朦朧としている間に、気がつけば別府…日々なんとなく暮らしているといった状態です。

それでも、新しい地で、新しい発見や出会いを期待しています。というわけで今回は、そんな別府の様子や、また、APU とその図書館のことも紹介させていただける機会をいただきましたので、最後までお付き合いいただければ幸いです。

### 1) ONSEN WONDERLAND

「別府」と聞いて連想すること。まあ、なんといってもまずは温泉ですよ。源泉数世界 No.1！湧出量世界 No.2！「街を歩けば温泉に当たる」といったご当地ことわざはありませんが、市内を少し移動するだけで、いろいろな温泉に浸かることができます。

実は別府は、「別府八湯」と呼ばれる、8つの温泉地の集合体なのです。泉質・効能も様々、それぞれに特徴があり、まずは八湯制覇を目指し、温泉巡りをしたいと思います。その他にも、入湯料がなんと 100 円！からという市営温泉がそこかしこに。まさに温泉ワンダーランド☆です。さらに、九州という立地柄、特に韓国や中国、台湾からの観光客も多く、ここは日本か？という光景もしばしばあります。

### 2) B? グルメ

B 級グルメ？いやいや、B 級だなんて呼ぶにはもったいない、BEPPU グルメのいくつかを。

#### ① とり天

ズバリ！鶏の天ぷらです。唐揚げとはまた違って、ふわふわサクリジューシー。しかも結構あっさりで、パクパクパク。

#### ② 別府冷麺

戦後、朝鮮冷麺を和風アレンジしたのが発祥で、牛骨スープにモチモチ麺の専門店系と、魚介スープにシコシコ麺の焼肉店系に二分されますが、どちらも美味し！ズルズル。

#### ③ だんご汁

郷土料理のひとつ。味噌仕立てのスープに幅の広い平麺とたっぷりの野菜が入ってお腹もいっぱい。ホクホクホク。

これら以外にも、豊後牛や、潮の流れの早い豊後水道で獲れる関サバに関アジなどの王道も含め、美味しいものがいっぱい！THE グルメ大国。

### 3) BP

実は、別府はアートの街でもあるのです。2005 年に、BEPPU PROJECT という NPO

が発足され、現代芸術の紹介や普及、人材育成、地域情報の発信など様々な事業が展開されています。しかも、APUの教授も理事に名を連ね、これからも目が離せません。

毎年11月に開催されている、市民参加型イベントの「ベップ・アート・マンス」に、今年は別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」も開催されます。

アートのもつ、自由なものを見方や捉え方から、未来への創造力を掘り起こし、多様性に満ちた豊かな世界へと誘います。BEPPU IS BURNING!いま、別府が熱いです。

#### 4) APU

さてさて、危うく忘れそうになりましたが、ここらで本学の紹介も。APUは2000年に開学された、まだ歴史の浅い大学です。それでも、大きな特徴は、なんといっても学生・教員の半数が外国籍というところです。世界の80を超える国や地域から留学生が集まってきていますので、日頃から日本語と英語、それ以外の言語も飛び交う様子は実に新鮮です。授業自体も二言語教育システムを導入していますし、キャンパスに隣接するAPハウスという寮に多くの学生が暮らしており、言語はもちろんのこと、習慣や宗教の違いも含めた他文化との密度の濃い交流は、なかなか無い環境ではないでしょうか。一味違った、新しい大学の風景を楽しんでいます。

そうそう、立地的な話も少し。APUは山の上に建っているのです。風が強く、雨は横から降って？きます。「山の天気は変わりやすい」を実感できるぐらいに、天気の移り変わりが激しく、ロンドンに負けず劣らず、APUも霧が名物です。建物の立地を知らないでいると、確実に迷子になります！

それでも、晴れた日に別府湾を望む景色は、本当に素晴らしい！

ちなみに、そんな晴れの日にはためく校旗は、私の友達の京都・西陣織物屋が作りました。不思議な縁です。

#### 5) APU LIBRARY

さて、最後になりましたが、図書館のことも。

APUの図書館は、昨年度大々的に工事し、建物全体にラーニングコモンズを導入しました。施設面では、2階構造になっていて、1階はアクティブラーニングエリアとして、グループでディスカッションしながら学習を進めていくスペース、それ以外にも、用途に合わせた使い分けのできるグループ学習室も用意されており、1階はいつもにぎやかな？雰囲気です。一方で、2階は静かな環境で学習できるスペースとして、空間の切り分けをしており、利用者はそれぞれのスタイルに合わせた使い方をしています。その他サービス面でも、学習相談ができるアドバイジングコーナーや、ライティングセンター、FIX講座なども充実しています。大学の規模もあり、大きな図書館ではありませんが、逆に利用者のニーズをいち早く取り入れ、運用していける体制が整っているように感じます。まだまだこれからですが、新しいサービスの掘り起こしをして、より一層学習の中心拠点になるような図書館を目指したいと思います。

<おわりに>

長々と駄文にお付き合いいただきありがとうございます。大図研全国大会 in 別府を野望に、皆さんの脳内に刷り込むべく、また折をみて登場させていただきたいと思います。

遠く離れてしまい、実質的な活動は出来なくなりましたが、それでも京都支部に引続き在籍させていただける喜びと、感謝を込めて。それでは。

ふじたに あつし (立命館アジア太平洋大学 APU ライブラリー)

## 大学図書館問題研究会第 43 回全国大会のご案内

今年の全国大会は、京都での開催です。この機会にぜひご参加ください。ご参加にあたっての不明な点などありましたら、どうぞお気軽に支部委員会 (kyoto@daitoken.com) まで、お問い合わせください。

なお、大会の詳細は「大学の図書館」31(5):2012.5 を、また、参加お申し込みや大会についての最新情報は、第 43 回全国大会の Web サイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/dtk2012kyoto/>

と き : 2012 年 8 月 4 日 (土) ~ 6 日 (月)

ところ : コミュニティ嵯峨野 (全国手話研修センター)

〒616-8372 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺広道町 3-4 Tel: 075-871-9711

<http://www.com-sagano.com/>

参加費 : 4,000 円 (会員) / 5,000 円 (非会員)

※ 1 日のみの参加は 2,000 円 (会員) / 3,000 円 (非会員)

懇親会費 : 5,000 円

### プログラム

#### ■ 8 月 4 日 (土) 1 日目

(12:30 - ) 大会受付開始

(12:45 - 13:00) ウェルカム・ガイダンス(初参加者向けオリエンテーションです。)

(13:00 - 14:45) 研究発表

(15:15 - 16:45) 記念講演「妖怪画の伝統と創造 (仮題)」

小松和彦先生 (国際日本文化研究センター所長)

(17:00 - 17:20) 写真撮影

(17:30 - 19:30) 全体懇親会

(19:30 - 21:30) 自主企画「地酒の会」

#### ■ 8 月 5 日 (日) 2 日目 : 課題別分科会

(9:30 - 11:30)

第 1 分科会 利用者支援 A

第 2 分科会 ディスカバリー・サービス

第 3 分科会 図書館経営

第 4 分科会 リカレント教育

第 5 分科会 類縁機関との連携

第 6 分科会 大学図書館史

(11:30 - 13:00) ランチタイムレビュー

(13:30 - 15:30)

第 7 分科会 利用者支援 B

第 9 分科会 出版・流通

第 11 分科会 オープンアクセス

& 機関リポジトリ

第 8 分科会 学習のハブとしての大学図書館

第 10 分科会 研究支援・文献管理ツール

第 12 分科会 危機管理・施設

(15:45 - 18:15) 全体会

(18:15 - 21:30) 自主企画

■ 8月6日(月) 3日目：オープンシンポジウム

(9:00 - 12:00) 「大学の中の図書館の役割－効果的な広報の観点から(仮題)」

大会3日目、恒例となったシンポジウムは、テーマを「大学の中の図書館の役割－効果的な広報の観点から(仮題)」としました。

大学や図書館を取り巻く環境が激変する中、図書館はいかなる役割を期待されているのか。大学図書館の中には、たとえば学習支援、研究支援、教育支援と、親機関である大学の方針を勘案しつつ積極的な取り組み、サービスを展開しながらも、それが親機関に十分認知されていないというところも少なくありません。

これはどこに問題があるのか？

サービスの質自体に問題がある、ということの可能性としてみつつも、一方で「図書館の見える化」はどこまでなしているのか、「図書館を伝える、理解させる」ことどこまで成功しているのか？ 残念ながら疑問なしとしません。

今回のシンポジウムでは、大学の中での図書館の現代的な役割、という根本的なテーマを探究しつつ、同時にその「役割」を、コミュニティを構成するステークホルダーたちに、どのようにすれば効果的に伝えることができるのか。このような観点から、パネルディスカッションという形式を以て、参加者の皆さんと共に考えていきたいと考えています。

■ 自主企画(追加予定あり)

・ 二日連続「地酒の会」 8月4日(土)、5日(日)

恒例の「地酒の会」を今年も開催します。しかも二夜連続開催です!! 一日(土曜日)は例年通り、みんなで持ち寄った「地酒」を気軽に楽しめます。二日目(日曜日)の夜は、有名な祇園の日本酒バー「花観酒房」の吉田澄男さん(SSI<日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会>認定きき酒師)をお招きして「日本酒」に関するお話をいただきます。どんな内容でお話しいただけるのか、今から興味深いです。お話し会で日本酒についての知識を深めた後に、吉田さんと一緒にじっくりと日本酒を堪能する機会を設ける予定です。例年とは違った趣向で楽しんでいただけるように企画しました。皆さんのご参加をお待ちしています。

※8月5日は人数制限あり(先着25名)

・ 肉食系図書館員の会 nikulib(仮) 8月5日(日)

交流会の開催、小冊子の発行。1-2時間程度の交流会後、懇親会を行います。

◇ 会費納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

大図研会費および京都支部会費の納入をお願いしているところですが、納入率は依然思わしくない状態にあります。既に2011年度(大図研会計年度2011.07-2012.06)に入っておりますので、2011年度の会費の納入をお願い致します。また、2010年度以前の会費をお納めいただいていない会員のみなさま、一刻も早い会費の納入にご協力いただきますようお願い致します。

**会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都支部会費：¥2,000)です。**

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員におことづけください。

**郵便振替振替口座番号 01090-4-5904 大学図書館問題研究会京都支部**

また、ご不明な点は大学図書館問題研究会京都支部(kyoto@daitoken.com)まで。